

(報道資料)

## 国内初、「微量モード」搭載クッキングスケールで防塵・防水を実現 洗えるデジタルクッキングスケール「KW-320」「KW-220」を2月1日に発売

2016年2月1日

株式会社タニタ

健康総合企業の株式会社タニタ（東京都板橋区前野町1-14-2、社長・谷田千里）は、高い防塵・防水機能を持たせた家庭用のデジタルクッキングスケール「KW-320」と「KW-220」の2機種を2月1日に発売します。電気機械器具の外郭による保護等級（IPコード）で「IP65」を取得。本体内部への粉塵の侵入を完全にシャットアウトするとともに、本体を水洗いできるようにしたのが特徴です。お菓子やパンづくりに便利な0.1グラムから計量できる「微量モード」を搭載しながら、防塵・防水を実現したデジタルクッキングスケールは国内初※となります。価格はオープン。家庭でパンやお菓子づくりをする女性をメーンターゲットに、年間1万7500台の販売を計画しています。

タニタでは2009年に「微量モード」搭載のデジタルクッキングスケールを発売し、パンやお菓子づくり用途で利用が進んでいます。一方で、小麦粉や砂糖など粉末の食材を計量することが多いため、お手入れのしやすさや防塵・防水機能へのニーズが高まっていました。今回発売する「KW-320」と「KW-220」は、いずれも家庭用のデジタルクッキングスケールとしては上位の防塵・防水保護等級「IP65」を取得。また衛生面にも配慮し、取り外して洗える計量皿、ふき取りやすい本体デザインとすることで、簡単にお手入れができるようにしました。文字高は28ミリメートルで、大きなボウルを載せても表示が見やすいデザインとしたほか、水や牛乳の容量が計測できる「ミリリットルモード」を搭載し利便性を高めています。さらに「KW-320」はシリコンマットをつけることで、滑りやすいガラスボウルも安心して使えるようにしています。

計量範囲は「KW-320」が0-3キログラム、「KW-220」が0-2キログラム。最小表示はいずれも1グラム（「微量モード」時は0.1グラム）。本体サイズ・重量は「KW-320」が幅143×高さ40×奥行216ミリメートル、約581グラム（シリコンマット含む）、「KW-220」が幅143×高さ39×奥行216ミリメートル、約554グラム。色はホワイトを基調とし、清潔感を高めています。

生活者のライフスタイルの多様化に伴い、キッチン周りの機器にもさまざまな機能が求め



られています。こうしたニーズにこたえ、タニタでは米飯のカロリーや、成人が1日に必要な野菜の量が計量できるデジタルクッキングスケールなどを発売してきました。今回の防塵・防水機能を持たせた商品もその一環です。今後も生活者のライフスタイルの変化に合わせた商品づくりを推進してラインアップを拡充し、さらなる市場の深耕を図っていきたいと考えています。

※2016年1月現在。タニタ調べ。



洗えるデジタルクッキングスケール「KW-320」(左)と「KW-220」

#### お客様からのお問い合わせ先

株式会社タニタ お客様サービス相談室  
ナビダイヤル：0570(099)655  
受付時間：平日9:00-18:00

報道資料に記載されている情報は発表日現在のものです。このため、時間の経過あるいは後発的なさまざまな事象によって、内容が予告なしに変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。